

ドライブレコーダー機能付

10.88インチ デジタルルームミラー 【取扱説明書】

MDR-C013A / MDR-C013B

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

お知らせ

**取扱説明書の
最新バージョンは以下のURLから
ご確認ください。**

※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。

<https://maxwin.jp/datadownload/manual/>



目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■本体各部名称	7
■microSDカードの挿入・取り出し.....	8
■電源のON/OFF	9
■日時表示	10
■画面調整	11
■メニュー	12
■液晶表示OFF	13
■各種設定	14
■録画モード	17
■駐車監視録画	18
■データ再生	19
■バック連動	20
■よくある質問	21
■製品仕様	22
■ファームウェアについて	23
■商品保証書	24

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとリアカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像(手動、衝撃検知、駐車監視)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※ 以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

1. 本機にmicroSDカードを挿入していない場合
2. 本機からmicroSDカードを抜いた場合
3. 本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
4. 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
5. 大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
6. 大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
7. 低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
8. 自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※ 7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

9. 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
10. 相手車両の側面をこするように衝突した場合

※ 9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

使用上のご注意

【microSDカード(別売)について】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- **本機はDC12/24Vマイナスアース車専用です。(リバーズ連動線12V対応のみ)**
12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。
上記以外のお車にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。**
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。**
- **機器内部に水や異物を入れないでください。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。**
落雷により、感電の危険性があります。
- **本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。**
- **microSDカード挿入口に異物を入れないでください。**
火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

注意

- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面が黒くなってから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



NO.	名称	働き
①	取付ゴム固定具	取付ゴムを引っ掛けて本体を固定します
②	miniUSBコネクタ	リアカメラ映像信号入力端子
③	3.5mmコネクタ	※使用しません。
④	リセットボタン	本体がリセットされます。※
⑤	microSDスロット	micro SDカードを挿入します (最大128GB (Class10かつFAT32)まで対応)
⑥	miniUSBコネクタ	本機電源入力端子 (DC5V)
⑦	液晶モニター	10.88インチミラー型タッチパネルIPS液晶(静電式)
⑧	電源ボタン	長押しで電源をON/OFFします

※本体が正しく動作しなくなった時にリセットしてください。強制的に再起動します。

microSDカードの挿入・取り出し方法

■microSDカードを挿入する

microSDカードは下図の向きでカードスロットに挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



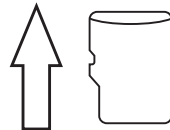
■microSDカードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※無理な力で行うと破損の原因になります。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



■使用できるmicroSDカードについて

本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」をmicroSDカードと総称して表示しています。

本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。

・microSDHCカード

容量:8~32GB、スピードクラス:CLASS10以上

・microSDXCカード

容量:32~128GB、スピードクラス:CLASS10以上

※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行なってください。

電源のON/OFF

■電源ON

車のエンジンを始動 (ACCをON) すると自動的に起動します。
起動と同時に録画が自動的に始まります。



電源ON

■電源OFF

車両のエンジンを停止 (ACCをOFF) すると、録画が自動的に停止します。



電源OFF

録画中マークについて

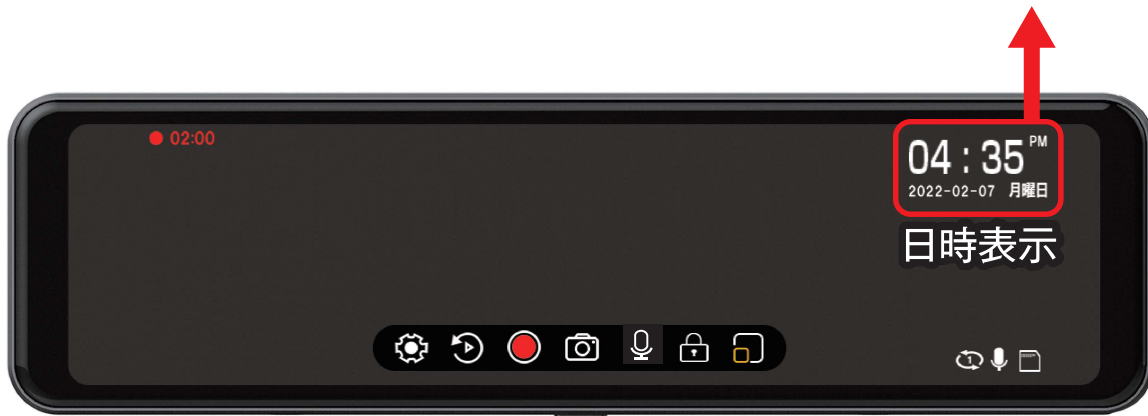
通常録画中は赤色の丸で表示、緊急録画時は黄色の丸で表示されます。

日時表示

■日時表示

画面右側に表示します。

「日時」をタッチすると、
日時設定画面が表示されます。



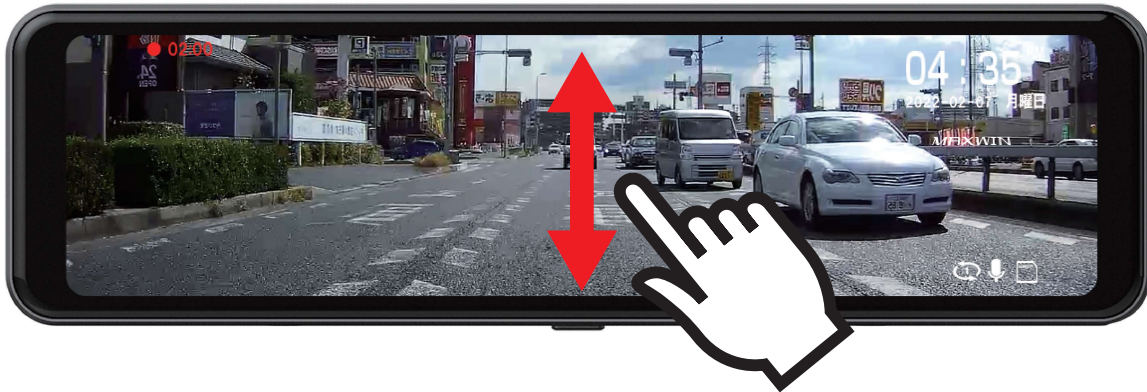
⚠ 日時表示について

期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。
日時を手動にて設定し直してください。

画面調整

■アングル調整

カメラ表示モード中に画面をタッチし上下にスライドすると、カメラ表示アングルも上下に動かすことができます。



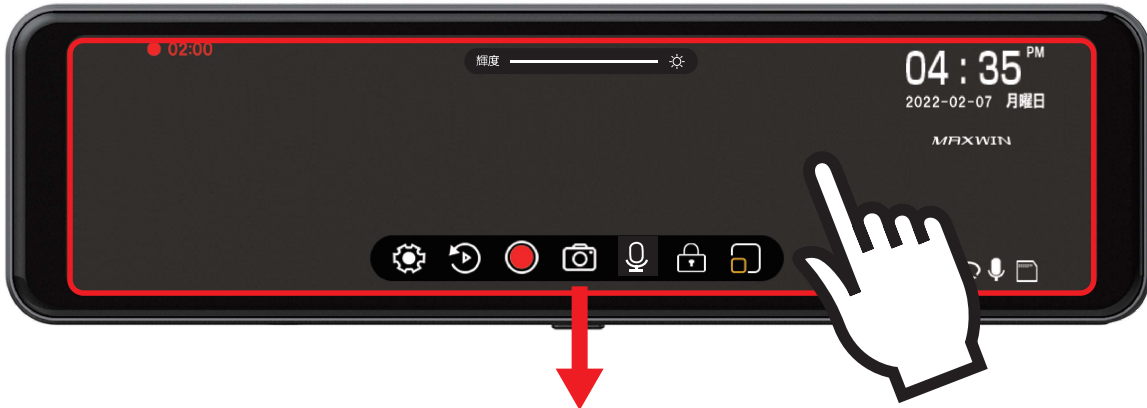
■明るさ調整

赤枠で示す範囲内の画面をタッチして“明るさ調整”画面を表示させます。“明るさ調整”画面をタッチし左右にスライドすると明るさを調整できます。



メニュー

画面をタッチするとメニューが表示されます。



● 録画マーク…録画中は赤で点滅します。

03:35 PM 日時表示…日付と日時を表示します。
2022-02-07 月曜日

⚙️ メニューボタン…録画停止をしてからメニュー操作できます。

▶️ 再生ボタン…動画と静止画を再生します。

● 録画ボタン…録画をON/OFF切り替えます。

📷 静止画ボタン…静止画を撮ります。

🎙️ 録音ボタン…録画をON/OFF切り替えます。

🔒 ロックボタン…録画中の動画をロック/ロック解除します。

📱 リア拡大表示ボタン…リアカメラ拡大表示の画面を切り替えます。

輝度 — ✨ 明るさ調整…画面の明るさを調整できます。

📍 GPSマーク…GPSを測位すると、緑に変わります。※1

🚗 駐車監視マーク…駐車監視機能をONにすると表示します。※2

🔄 ループ録画マーク…録画の状態を表示します。

🎙️ 録音マーク…録音設定のON/OFFを表示します。

💾 SDカードマーク…microSDカードの動作状況を表示します。

※1…GPSアンテナ(別売)接続時のみ表示

※2…3芯電源ケーブル(別売)接続時のみ表示

液晶表示OFF

電源ボタン短押しでカメラ表示がOFFになり、通常のみラーとしてご使用いただけます。
再度電源ボタンを短押しまたは画面タッチでデジタルミラーに戻ります。

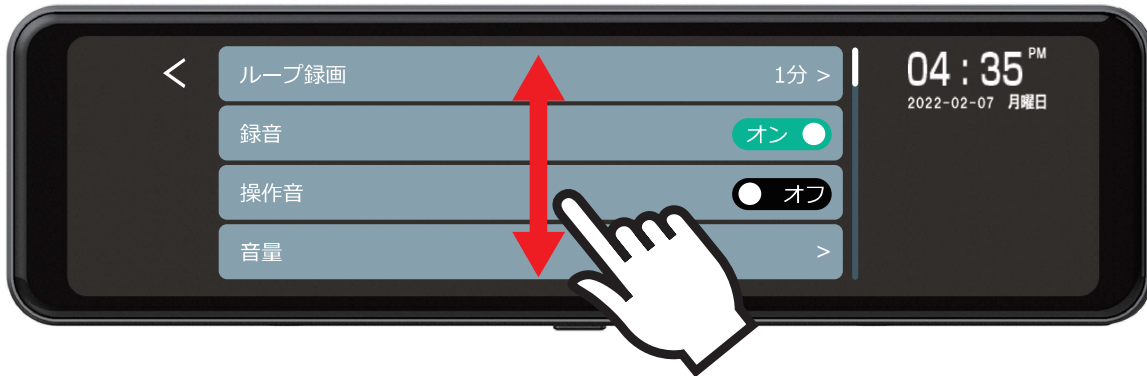
※スクリーンセーバー機能をONにすると、操作しないまま設定した時間を過ぎると自動的に表示OFFになります。



液晶表示OFF

各種設定

メニュー画面で設定ボタンをタッチして各項目を設定します。

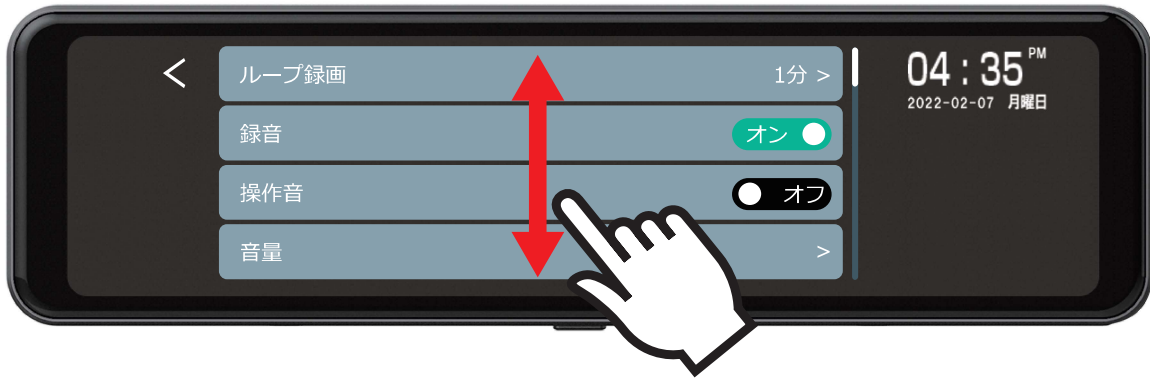


上下にスライドして項目を選択し、タッチして設定を変更します。
左上の < をタッチすると前画面に戻ります。

- ループ録画 …………… 1データごとの録画時間を設定します。(1分、2分、3分)
- 録音 …………… 音声録音のオン/オフを設定します。
- 操作音 …………… 操作音のオン/オフを設定します。
- 音量 …………… +/-のアイコンをタッチして、音量が調節できます。
- Gセンサー感度 …………… Gセンサー感度を設定します。(オフ、高、中、低)
- 日時設定 …………… +/-のアイコンをタッチして、時刻と日付を設定します。
- 日時表示 …………… 日時表示のオン/オフを設定します。
- 時間の表示形式 …………… 時間の表示形式を設定します。(12時間、24時間)
- 言語 …………… 表示言語を設定します。
- スクリーンセーバー …………… 一定時間経過すると画面表示を消します。(オフ、1分、2分、3分)
- オート録画 …………… オンに設定すると、無操作が続くと自動的に録画が開始されます。
※オート録画をオフにしても電源オン時は自動的に録画を開始します。
- ロックファイル上書き …………… ロックファイル上書きのオン/オフを設定します。
- リアカメラ鏡像 …………… リアカメラ鏡像オン/オフを設定します。
- 上下反転表示 …………… リアカメラ上下反転表示のオン/オフを設定します。

各種設定

メニュー画面で設定ボタンをタッチして各項目を設定します。



上下にスライドして項目を選択し、タッチして設定を変更します。
左上の < をタッチすると前画面に戻ります。

- バックガイドライン表示…………… バック連動時のガイドライン表示オン/オフを設定します。
- バックガイドライン調整…………… ガイドラインをタッチして、適切な角度の調整を設定します。
- リアカメラ表示範囲設定 ………… リアカメラ拡大表示時の範囲を+/-で調整して設定します。
- アイコン表示…………… アイコン表示オン/オフを設定します。
- 設定初期化 ……………… 設定を工場出荷状態にします。
- フォーマット ……………… microSDカードをフォーマットします。
- バージョン ……………… ファームウェアのバージョンを表示します。

各種設定

■GPSアンテナ(別売)接続時には以下の設定項目が追加されます。

- GPS情報 GPS測位情報を表示します。
- 時間区域設定 時間区域(タイムゾーン)を設定します。
(日本はGMT+9:00)
- GPS表示 速度・方位の表示オン/オフを設定します。
- 速度単位 表示する速度の単位を設定します。(KM/H、MPH)
- 速度警告 設定速度を超えると警報する機能です。
(オフ、30KM/H~160KM/H)

■3芯電源ケーブル(別売)接続時には以下の設定項目が追加されます。

- 駐車監視モード タイムラプス録画の各種設定を行います。
(タイムラプス録画)
 - ・タイムラプス録画 駐車監視時のタイムラプス録画オン/オフを設定します。
 - ・録画時間 タイムラプス録画を行う時間を設定します。
(12時間、24時間)
 - ・フレームレート 1秒間のフレーム数を設定します。
(1fps、2fps、5fps)
- 駐車監視モード 駐車監視時のGセンサー感度を設定します。
(衝撃検知録画)
(オフ、高、中、低)

録画モード

■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。


設定により、1分/2分/3分と録画時間を変更できます。(初期値は1分)

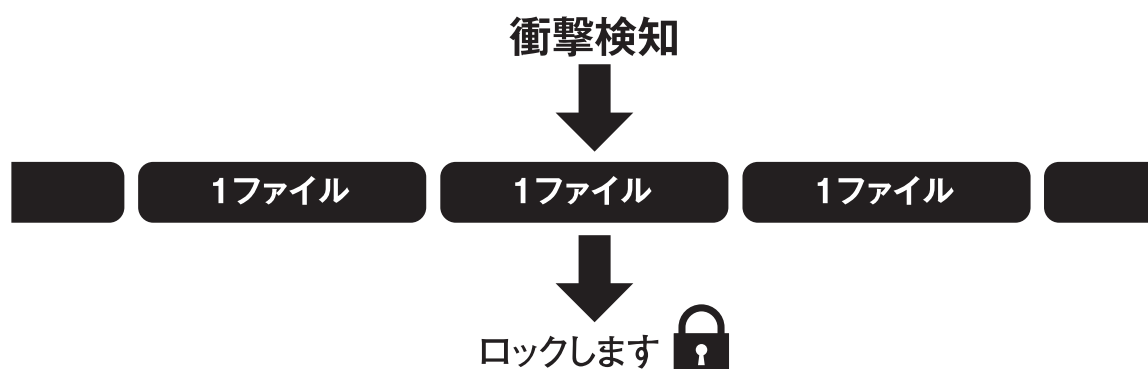
microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。

【録画時間を1分に設定】



■緊急録画

録画中、「」ボタンをタッチまたは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を検知すると、緊急モードで録画を開始します。録画中はアイコンが黄色になります。



※「ロックファイル上書き」設定をOFFにすると、ロックされたファイルは上書きされません。
必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

ご注意

- Gセンサー感度が「高」に設定されている場合、衝撃を検出しやすくなります。
Gセンサー感度が「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像や、ファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、「ロックファイル上書き」ONの場合は上書きされます。
「ロックファイル上書き」設定をOFFにした場合、ロックされたファイルが増えると、緊急録画ファイルを保存することができなくなりますので、必要に応じてファイルを削除してください。

駐車監視録画

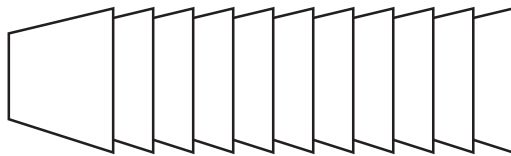
駐車監視録画を行うには別売の3芯電源ケーブルを接続し、設定メニューの「タイムラプス監視」をオン、または「駐車監視モード(衝撃検知録画)」を低/中/高のいずれかに設定してください。

■タイムラプス録画

1秒間のフレーム数(撮影枚数)を少なくして映像を記録する機能で、通常の録画より使用するメモリー容量を抑えることができるので駐車監視時に最適です。

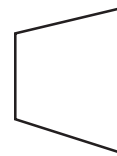
また短い動画に圧縮して保存することでバッテリー使用容量を抑え、長時間の録画が可能になります。

(例) 通常録画



1秒間に25枚撮影(25fps)

タイムラプス録画



1秒間に1枚撮影(1fps)

■衝撃検知録画

車両のエンジンを停止(ACCオフ)すると、約5秒後に本体の電源がオフになります。本体の電源がオフになってからさらに約5秒後、衝撃検知録画スタンバイ状態になります。本体に搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に約10秒間の緊急録画を行い、録画終了後に再び衝撃検知録画スタンバイ状態に移行します。車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本体の電源がオンになり、常時録画が開始されます。

Gセンサー検知



衝撃検知スタンバイ状態

約10秒間の緊急録画

衝撃検知スタンバイ状態

記録開始

電源OFF

ご注意

- 「駐車監視モード(衝撃検知録画)」をオフに設定すると、衝撃検知録画スタンバイ状態に移行されません。
- ドアを締めたときの衝撃を検知して、衝撃検知録画が動作することがあります。
- リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

データ再生

■本体で再生

メニュー画面で再生ボタンをタッチして再生画面を表示します。

※動画を再生させるには、録画を停止してください。



- | | | |
|----------|-------|-------|
| 通常動画 | 緊急録画 | 静止画 |
| 撮影カメラ | 再生開始 | 全画面表示 |
| 動画をロックする | 動画を削除 | 戻る |

通常録画、緊急録画、静止画から再生したいデータ種類を選択するとリストにデータ一覧とサムネイルが表示されます。

データ一覧を上下にスライドしてデータをタッチし、データ名もしくはサムネイルでファイルをタッチして再生が開始します。

データ再生画面で削除ボタン・ロックボタンを押すとデータの削除やロックも操作できます。左上の < をタッチすると前画面に戻ります。

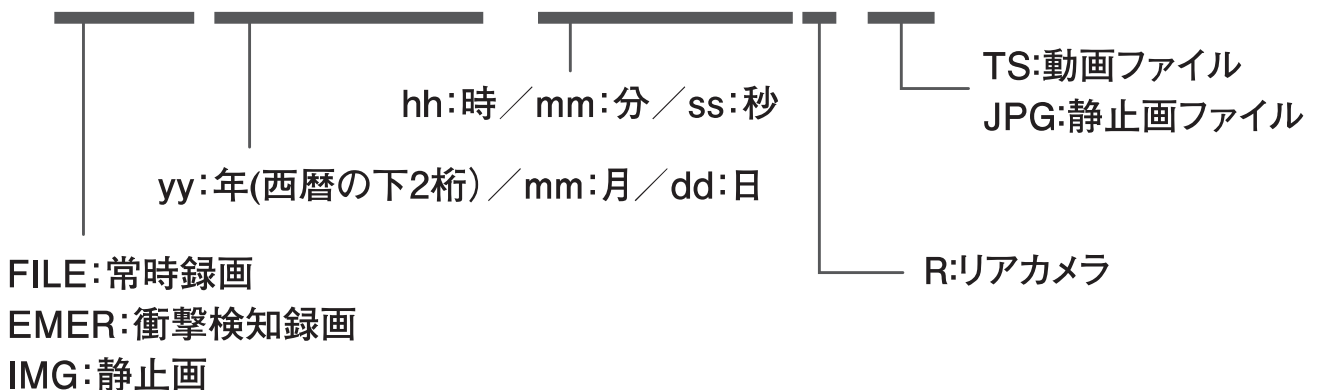
■パソコンで再生

録画済みのmicroSDカードをパソコンに読み込んで、再生したいファイルを開きます。

● ファイル名について

ファイル種類+録画した年月日、時分秒の組み合わせで作成します。

FILE yymmdd-hhmmssR.TS



バック連動

バック連動線を接続している場合、バックギア入力時にバックガイドラインが表示されます。

リアカメラ映像

通常時

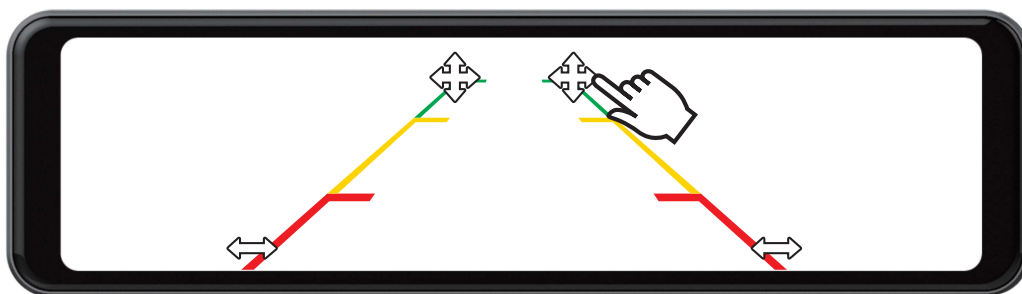


バックギア入力時

■バック連動画面のガイドライン調整

調整方法:

設定メニューの「バックガイドライン調整」にて、矢印をタッチしてスライドさせるとガイドラインを左右・上下位置に調整できます。



※左右の線は連動していません。個別に調整してください。

■バック連動画面の角度調整

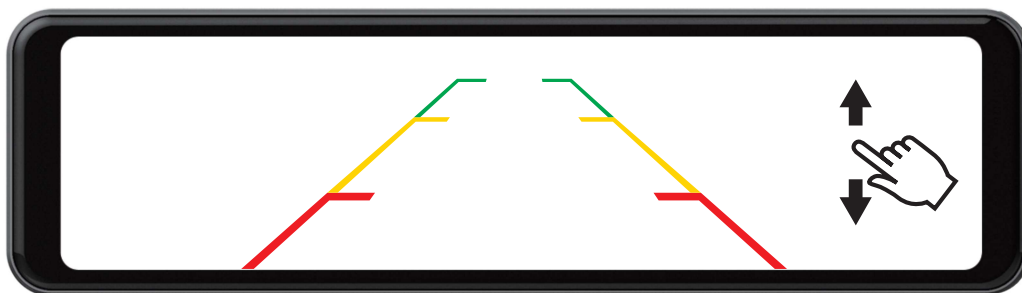
バック連動時の映像表示角度は手動で調整可能です。

調整後にバック連動すると画面がその角度で表示されます。

※バックモード起動中にのみ変更可能です。

調整方法:

ガイドライン以外のエリアで上下スライドすると角度(上下方向)調整



※バックガイドライン、角度を調整するときは安全な場所に停車してください。

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない	電源の接続をご確認ください。 本機に電源が供給されていない可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
液晶画面が反応しない	電源ボタンを押して一度シャットダウンし、再度ボタンを押して起動してください。または電源コードを接続しなおしてください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知してしまっています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	再度日時設定を行なってください。
ディスプレイに操作ボタンが表示されない	起動後、画面操作を10秒間しないと自動的に表示が消えます。
ブザー音が流れない	本体設定のスピーカー音量が『OFF』になっていないかご確認ください。
設定が保存されない	メニュー項目やバック連動線などの設定はmicroSDカードに保存されます。必ずmicroSDカードを挿入してから使用してください。

製品仕様

モニター	10.88インチ タッチパネルIPS液晶(静電式)
録画解像度	1080P
録画モード	ループ録画
動画ファイル形式	TS(H.264)
メモリーカード	別売microSDカード (class10以上最大128GBまで対応)
消費電力	最大12W※内蔵バッテリーがありません
電源電圧	DC12V / 24V (リバーズ連動線12V対応のみ)
動作温度範囲	-20℃~+70℃

リアカメラ

画素数	200万画素
カメラ画角	D=140° / H=112° / V=60°
F値	F/NO 1.8
フレームレート	25fps
防水	IP67(車外設置タイプリアカメラのみ)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp
へお問い合わせください。

MAXWIN